

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・体制	1	子どもが活動するスペースは、適切である	○			
	2	職員の配置は適切である	○			安全のためにもう少し多くてもいいと思う。
	3	サービスを提供する時間帯は適切である	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)がスタッフ間で共有できている	○			昨日の振り返りをすることで様々な改善がみられるようになってきた。毎日の朝礼でより良い方法を話し合っている。
	5	職員の資質向上のため、研修の機会を確保している	○			わからないことがあるとスタッフ全員で研修を設けている。新人研修を終えても定期的な研修が必要と思う。
	6	アセスメントを適切に行い、子ども・保護者のニーズを分析し、支援している	○			ミーティングを設け、アセスメントの結果を分析し、支援方法をスタッフ間で決めている。
活動プログラム	7	個々のカリキュラム立案をチームで実施できている	○			朝礼時、カリキュラムを立案している。
	8	カリキュラムが固定化しないよう工夫している	○			必要な支援ができるよう、スタッフ間で話し合いを密にしている。
	9	子どもの状況に応じたカリキュラムを提供している	○			日々状況が変わるので毎日の話し合いの中で決めて提供している。
	10	子どもの状況に応じて、個別・集団のカリキュラムを適宜組み合わせ支援している	○			
	11	カリキュラムについての研修等を定期的実施している		○		疑問に思ったタイミングでミーティングを設定し、研修を行っている。
	12	カリキュラム開始前にスタッフ間で打ち合わせし、支援内容の共有及び役割分担が行われている	○			基本的には毎日よく話し合っているが、日によっては出来ないこともある。

適切な支援	13	スタッフ間で支援の振り返りを行い、ニーズ・課題などの共有ができています	○			カリキュラム終了後もしくは翌日振り返りを実施している。
	14	日々の支援に関し、日報等で正しく記録を取っている	○			
	15	定期的にモニタリングを行い、モニタリングの重要性を理解している	○			スタッフ全員で行うので、自分の気づかないことに気づくことができる。
	16	ケース会議等の機会を設けている	○			よく話し合われているが、ケース会議の意味がよくわからないスタッフもいたため、意味を理解して行っていきたい。
	17	日々の支援に対し、スーパーバイズするスタッフが整備されている	○			適切な言葉で新しいスタッフの研修を行えている。
関係機関・保護者との連携	18	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者・関係機関と連携した支援を行っている	○			市から通知や他事業所の見学案内が来ることがあれば参加をさせていただいている。
	19	各関係機関が主催するサービス担当者会議等に参画している	○			
	20	保育所・認定こども園・幼稚園等と情報の共有を積極的に行っている	○			園へのお迎え時やマンスリーレポートを持参するときに情報共有を行っている。
	21	医療的なケアが必要な子どもを受け入れる場合、協力医療機関等と連携・連絡体制を整えている		○		お子様の既往歴や服薬の情報は共有しているが、現在対象児はいないので、今後必要に応じて対応していく。
	22	他事業所との連絡体制を整えている	○			連携をとっている
	23	日頃から子どもの状況を保護者に伝え、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	○			日々の様子を保護者にしっかり伝えるようにしている。
	24	保護者の対応力向上を図る観点から保護者に対して家庭支援プログラム等の支援を行っている	○			ご家庭でできることをアドバイスしている
	25	保護者会等を開催し、保護者同士の連携に対する支援をしている	○			保護者勉強会の参加を呼び掛けている
	26	保護者からの子育て等の悩みについて適切に応じ、必要な助言・支援をしている	○			電話や日々の保護者対応で対応している。
	27	定期的に会報等を発行し、活動概要等を保護者に対し、発信している	○			モニタリング・個別懇談などの結果を考慮し、マンスリーレポートを発信している。
28	子どもや保護者との意思疎通・情報伝達のための配慮をしている	○				

説明	29	契約時、重要事項説明を丁寧に行なっている	○			
	30	個人情報の取り扱いに十分注意されている	○			
非常時等の対応	31	緊急時の対応等の連絡体制が整備されている	○			新スタッフの中にはわからないスタッフもいるので、今後確認をしていく
	32	緊急時の対応等のマニュアルがスタッフ間で周知されている	○			新しいスタッフが多いので、管理者が指示をしている
	33	災害発生時の避難場所等を把握している	○			新しいスタッフは避難訓練を行っていないので、今後定期的に行っていく
	34	ヒヤリハットを作成し、事業所間で共有している	○			毎日の朝礼時に確認をしている
	35	虐待を防止するため、職員の研修等で情報の共有をしている	○			新しいスタッフが多いが、定期的に研修を行っていく。